

熱戦を繰り広げていたサッカーワールドカップ南アフリカ大会は、スペインの初優勝で幕を閉じました。念願のベスト4進出こそ叶いませんでしたが、夢と希望、そして勇気を与えてくれた岡田ジャパンに感謝です。

一方、ワールドカップ閉幕直後に行われた参議院議員選挙の結果には少々がっかりさせられました。政治家に対してだけでなく、われわれ有権者に対しても、です。期待を寄せて民主党を選んでおきながら、舌の根も乾かぬうちに批判をする、私たち国民の無責任さについては、2010年12月号の「あとがき」にも記させていただきました。私は民主党擁護派でもなければ、特別な政治思想を持っているわけでもありませんが、もう少し長い目で民主党主体の国政を見守っていてもよかったのではないかと感じます。確かに問題はありますが、よくよく考えてみれば、問題の多くは自民党政権時代の負の遺産であるように思います。ねじれた政権では、国政の立て直しはさらに難しいのではないのでしょうか。「サッカーと政治を一緒にするな!」とお叱りを受けてしまうかもしれませんが、岡田監督不要論を強く支持していた私も、今回のワールドカップで、「成果を形として表す」には相当の時間を要するということをし、改めて痛感させられました。

本号の「病気のはなし」で取り上げられているボンペ病は、1932年にボンペによって報告され、その約30年後に酸性 α -グルコシダーゼの遺伝的欠損による細胞内へのグリコーゲン蓄積によるライソゾーム病であることが明らかになりました。さらに月日をかけて当該疾患における酸性 α -グルコシダーゼの遺伝子異常が同定されました。そのような弛まない努力が検査法の確立、有効な治療法の開発に繋がってきているということです。「技術講座」ではマンモグラフィについて、全くの素人の私にも、大変わかりやすく解説されています。マンモグラフィは今や乳癌検診には欠かせないツールになっていますが、その歴史を紐解いてみると、意外と古いことに驚かされます。1930年にアメリカで初のマンモグラフィが試みられましたが、「マンモグラフィ不要論」が唱えられ、日の目を見ない状況が1950年代後半まで続いたということです。同じく「技術講座」で詳細な解説がされているアディボネクチンは、その同定から臨床応用までの時間が比較的短いほうだと思いますが、それでも数年の歳月を要しましたし、機能や臨床応用について普遍的な概念が確立するのはまだまだ時間が必要なのだと思います。何ごとにおいても「長期的視野」を持って取り組むことが肝要かと思えます。

またまた「医学と政治は違う!」とお叱りを受けそうなので、この辺で戯言は控えますが、「未来の臨床検査」を見据えながら日々の仕事に向き合っていきたいものです。紙面の都合上紹介できませんでしたが、本号も「未来の臨床検査」の道標となるような内容が満載されています。お役立ていただけることを願っております。

末筆ながら、暑さ厳しき折、読者の皆様方におかれましてはくれぐれもご自愛下さい。

(山内一由)

病気のはなし

CADASIL ————— 植田光晴, 他
技術講座

生化学: ホルモンの測定シリーズ・18 その他: 3
オステオカルシン, 尿中・血中 NTx — 佐藤幹二
生化学: real-time PCR 法によるキメラ mRNA の
定量 ————— 南木 融

疾患と検査値の推移

市中肺炎 ————— 小司久志, 他
臨床医からの質問に答える

血小板機能検査を依頼する際に注意すべきことを
教えて下さい ————— 佐藤金夫

ワンポイントアドバイス

特殊検体(便, 膿, 関節液, 気管支洗浄液など)中
の生化学成分測定と検体の前処理法 — 金原清子
オビニオン

災害時における検査技師の役割 ——— 福田篤久, 他
Laboratory Practice

微生物: ESBLs の分類 ————— 石井良和
免疫: HLA 適合血小板供給のための検査
————— 荒木延夫

復習のページ

ディスク拡散法の測定原理 ————— 相原雅典

今月の表紙/けんさ外国語会話/ラボクイズ/役に立つ
免疫組織化学: 免疫組織化学で注目すべき抗体/けん
さ質問箱/トピックス/他

ラボクイズ正解者

第38巻6号(2010年6月号)

石井達也(仙台市)/川北富久美(岐阜市)/
榎間利政(岐阜市)/高橋寛(仙台市)/橋本
哲雄(長崎市)/宮崎恵(大分市)/山川貴章
(豊川市)山口剛(木更津市)

●編集委員

菅野 治重
(編集主幹)
伊瀬 恵子
曾根 伸治
高木 康
手島 伸一
種村 正
矢富 裕
山内 一由
(五十音順)

検査と技術

2010年8月1日発行(毎月1回1日発行)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

☎113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713

ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982

E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通

振替口座

印刷 (株)アイワード

広告申込 (株)東広社

(03)3817-5659

00170-9-96693

(011)241-9341

(03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構

(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)はhttp://www.igaku-shoin.co.jpです。

(担当 山本・井上・能藤)